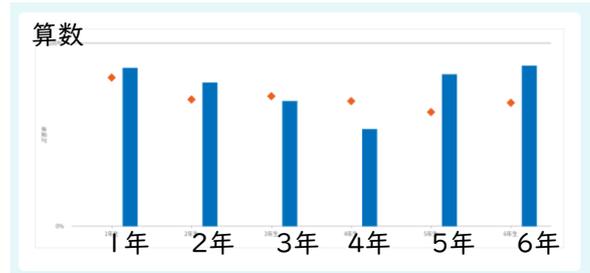
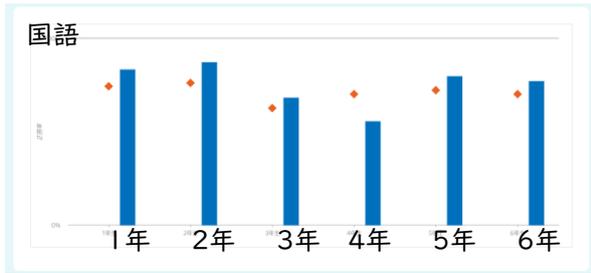


令和7年度 吉野市立沼津小学校 学力向上プラン

標準学力調査 (R6.12月実施)の結果 (概要)



- 6学年中4学年は概ね良好。学年差・個人差が大きい。
- 国語科「書くこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域が低い。
- 算数科3～5年生は記述の問題で無回答の割合が高い。

自校の結果の集計・分析に基づく課題改善の取組

	集中的・短期的プラン	継続的・長期的プラン
組織	<p><校内研修></p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内研修プランの周知 ・年度当初に校内研修の方向性を示す。 ・月1回以上の校内研修通信で共通理解・実践を図る。 <p><学力向上推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジ学習の導入 ○家庭との連携の周知 	<p><校内研修></p> <ul style="list-style-type: none"> ○沼津スタンダードの共有 ・児童版と教師版の沼津スタンダードを設定する。 ・授業の流れ、板書のスタンダードを設定する。 ○実践の蓄積と共有 ・普通の授業、研究授業、児童の変容などを記録し、研究の振り返りや改善に生かす。 <p><学力向上推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ○継続しやすい学習活動の仕組化 ・諸活動や朝の時間を活用した学習活動を設定する。 ○家庭との連携の確立 ・「学力向上通信」を発行する。 ・育友会総会で周知する。
授業での取組	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が取り組みたくなるような授業づくり ・単元の導入に「見通し」をもたせる工夫をする。 ○ICTの活用工夫 ・児童の考えを“見える化”する。 ・対話の活発化のためにICTを効果的に活用する。 ○児童の理解度を把握⇒個別支援 ・ドリルパークなどでつまづきを把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「自己調整力」の育成 ・児童に「自ら目標を立て、振り返り、改善する」サイクルを身に付けさせる。 ○振り返りの徹底 ・毎時間「前時と本時の振り返り」を行う。 ・年間を通して自分の成長を“見える化”する。
全教育活動での取組	<ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジ学習 ・年間10回程度(諸活動)学校や学級の実態に合った学習活動を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学び合う文化づくり ・委員会活動やファミリー班活動で主体性や他者理解を育てる。 ○定期的な学力分析会の実施 ・年に2回(4月と12月)の学力調査を実施する。 ・学期ごとの子どもの様子を振り返る。
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭習慣チェック ・家庭学習、読書、早寝、早起き、しっかり朝ごはん、朝うんちなど生活習慣の自己評価をする。 ・家庭でも毎日の宿題チェックをする。(音読・国・算・その他) 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習の徹底 ・「家庭学習の手引き」を活用した取組を啓発する。 (学級育友会での啓発) ・家庭読書の推進を図る。(家庭での10分間読書の定着) ○家庭学習の環境づくり ・ノーメディアチャレンジを実施する。 ・学級育友会で家庭での声かけ、見守り方、ICTの使い方など伝える場を設定する。